

行政委員

4月1日から、自治会の行政委員の職務が、決定しました。

これまで、牛窓町・邑久町・長船町の自治会委員や土木関係委員は、それぞれ呼び名や仕事内容、報酬が異なっていました。それが、このたび調整され、統一されました。

委員は、市と市民が緊密な事務の連携を保ち、住民福祉の増進を図るため、行政の事務連絡などに当たります。

委員は、行政委員、土木委員、環境衛生委員などで、各自治会に原則1名置かれます。任期は2年。それぞれの委員の職務を紹介します。



月1回広報紙を配布する行政委員

委員	職務
行政委員	土木・環境衛生委員との連絡・調整 新年度の各委員の届出 防犯灯の球切れの報告や新設要望 広報せとうち・議会だよりの配布 児童遊園地遊具整備事業補助金の申請 自治会集会所整備など事業補助金の申請 道路の補修、改良などの要望 道路の新設の連絡や調整 交通安全施設整備の要望 河川整備の要望 官民境界の立ち会い 開発事業の立ち会い
土木委員	土木施設の維持管理作業や工事 農道新設、改良、補修などの要望 用排水路新設、改良、補修などの要望 ため池改修、補修などの要望 農道、用排水路、ため池などの維持管理 水利に関する連絡や調整 下水道工事の連絡や調整 行政からの配布物の配布 ごみ収集時の指導や監視 清掃活動への協力 ゴミステーションの新設や増設要望
環境衛生委員	災害時の市との連絡や調整 災害被災箇所の確認、報告や応急措置 開発事業にかかる調整 各課からの連絡事項の周知
各委員共通	

市病院事業管理者に谷崎眞行氏が就任

市民の保健・医療・福祉に対する期待が、非常に高いことを受けて、市立の病院・診療所を再編・整備するため、瀬戸内市立病院等運営審議会が設立されました。

その審議会の答申では、地域医療の充実や市民への安全安心な医療体制を提供

するため、経営全般を総括する事業管理者設置の必要性が強く求められています。

市では、市立病院の改革を進め地域医療を充実するため、谷崎さんを、病院事業管理者に任命しました。牛窓両病院の医療と経営の

全般を統括する責任者で、任期は4年。4月から邑久病院内の病院事業管理室で、職務に当たっています。

谷崎さんは、国立病院機構岡山医療センターで、新築移転の指揮をとったり、医療制度改革の先端を勉強したりと、たくさんさんの経験を持っています。

安心感のある病院にしたい

病院事業管理者に就任し、まずやるべきことは、現状把握と情報収集です。まず皆さんから、いろいろな意見をお聞きしたい。

病院の職員にも、今までやってきたこと、近い将来どのようなことにしたいか、うかがいたいと思います。

邑久・牛窓両病院の職員の意識改革や経営の抜本的改革を進めるとき、二つが一緒になることは、お互い我慢することもありますが、気が付かなかったお互いの良い所を引き出すこともできます。

そして、患者さんの声や受診していただけない市民の皆さんの声、そして病院

はこうあってほしいという声をお聞きしたい。地域に密着した市民病院の位置付けは、まず患者さんに受診していただくことが重要であり、そのための工夫を考えたい。

瀬戸内市は、岡山市まで20〜30キロという立地条件にあります。必要に応じて、高度で専門的な医療が求められる岡山の大病院を紹介。その後、大病院を退院した人が、家に帰る不安がある時の受け皿として活用してもらおう、というものではないかと思っています。

まずは、市民の皆さんが、安心して受診できる病院にしたいと思っています。



谷崎病院事業管理者プロフィール

昭和42年、岡山大学医学部卒業後、岡山大学医学第2外科学教室入局、外科診療に携わる。昭和43年から日立造船因島病院、昭和45年から神戸市立西市民病院勤務。昭和46年に、岡山大学医学第2外科学教室帰局。昭和51年には、僧帽弁逆流を伴う心筋梗塞の血行動態学的研究で学位取得。昭和55年、国立岡山病院心臓血管外科医長、平成11年、同病院診療部長、平成12年、同病院副院長歴任。平成16年、独立行政法人国立病院機構岡山医療センター副院長。63歳。岡山市在住。